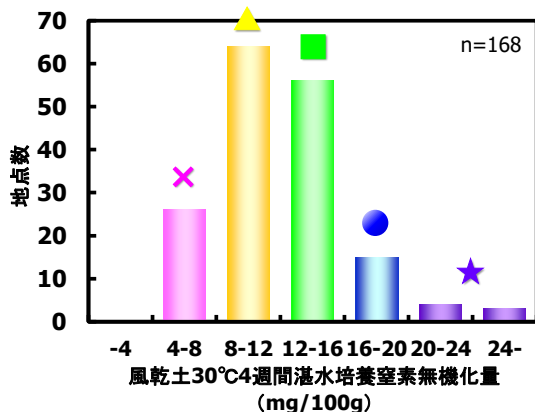


「ハツシモ岐阜SL」栽培地域の水田土壌の 地力窒素の実態を明らかにしました

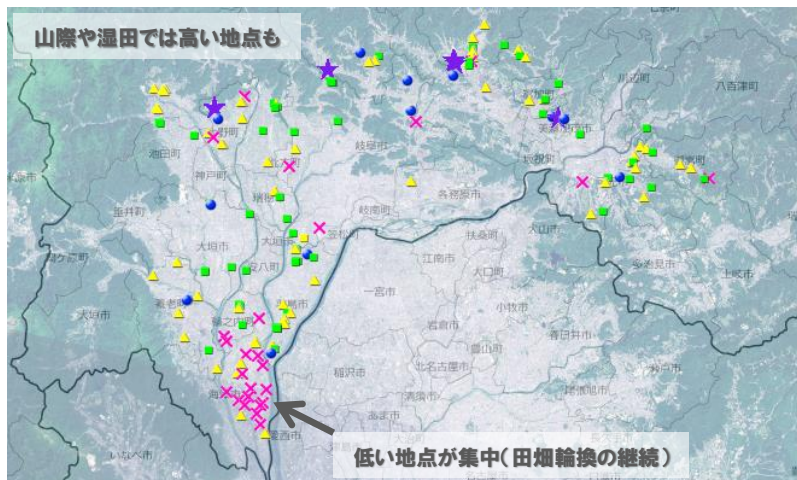
高品質な水稲を安定的に生産するためには、土壌から供給される窒素（地力窒素）を考慮した適正な施肥が重要です。

田畑輪換による水田の高度利用が継続する現状を踏まえ、「ハツシモ岐阜SL」栽培地域の水田土壌における、現時点での地力窒素の実態を明らかにしました。

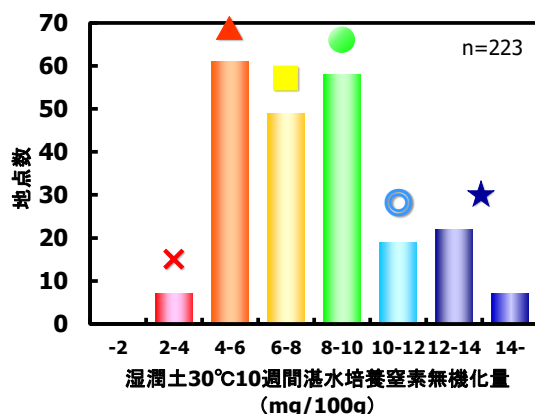
➤ 風乾土30℃4週間湛水培養窒素無機化量（土壌から供給される窒素の潜在量）



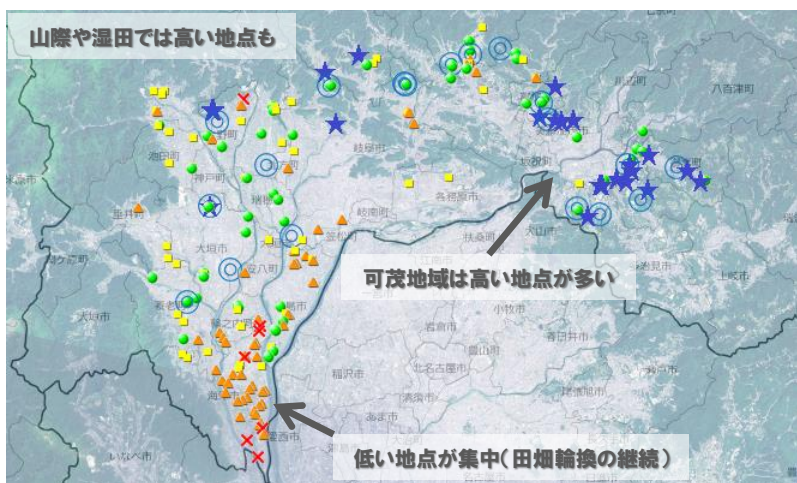
- ✓ 平成27～29年秋冬期採取土壌(168点)における結果
- ✓ グラフのバー上の凡例は地図上のプロットに対応



➤ 湿潤土30℃10週間湛水培養窒素無機化量（土壌からの窒素供給を量的に評価）



- ✓ 平成26～29年秋冬期採取土壌(233点)における結果
- ✓ グラフのバー上の凡例は地図上のプロットに対応



(研究成果)

- ・ 海津市を中心とした田畑輪換が繰り返されている地点では、地力窒素が低い傾向にあり、消耗が伺われました。
- ・ 一方、可茂地域では土壌からの窒素供給量が高い地点が多いことが明らかとなりました。
- ・ これらの成果を基に、土壌からの窒素供給量を考慮した適正施肥技術について、現在検討を進めています。

・ 本研究は農林水産省委託プロジェクト研究「収益力向上のための研究開発(平成27～31年度)」により実施しました。
 ・ 本地図は国土地理院の地理院地図を用いて作成しました。

(岐阜県農業技術センター 土壌化学部)